



優秀賞

橋梁延命化  
シナリオ  
研究会



インフラメンテの  
業務支援・教育用  
ソフト



H県技士会における講演の様子



S市役所建設課における講習の様子



建設技術展2022近畿における出展



「橋の匠」のTOP画面

道路分野

## 橋梁のメンテナンスに関する教育ソフト 「橋の匠」の開発と運用、および普及活動

### 取組概要

本研究会は2014年に設立された社団法人における研究開発・教育活動であり、教育ソフト「橋の匠」の社会実装を進めるとともに、同ソフトの開発と機能向上および運用と普及活動を行っている。2003年に設置され、3期10年に及ぶ、産学官連携プロジェクト「橋梁の延命化に関する研究」の成果の一部（維持管理に関する教育用ソフト「橋の匠」）をより実践向けにブラッシュアップして、社会実装を継続するとともに、若手技術者の現状打破・（早期の）技量引上げに貢献すべく活動している。

### 受賞理由

継続期間10年、約60団体以上との連携をしており、長年の知識の集積を実務的な人材育成のためのソフトウェアとして開発したこと、若手技術者の育成に貢献していることが評価された。

### 取組のポイント

ソフト「橋の匠」では、対話型でかつ用意された選択肢からチョイスする方式で、サクサクとスピーディに進められること、さらに確実に解に到達するよう階層構造を工夫していること、を意図しており、良好な自己研鑽の環境を用意できている。補修補強工法の選定では、コンクリートの6大劣化、鋼構造では3大劣化ほかを網羅しており、若手・経験が浅い技術者には、各橋が持つシナリオ（あるいは各橋の生涯プラン）を意識した上で、十分な知識と疑似的経験値の積上げを提供している。また、調査計測手法の選定では、こういった時点で、どの程度の調査精度が要求されているのか、シチュエーション別に調査計測手法をグルーピングしている。

### 受賞者について



橋梁延命化シナリオ研究会・第12回全体会議後の有志の集合写真（2019年01月）

### 受賞者

橋梁延命化シナリオ研究会  
宮川豊章会長（右写真）ほか



### コメント

図らずも「優秀賞」受賞の栄誉にあずかり誠に光栄に思っております。今後とも、研究会一同、橋梁の現場に立脚した、より実践的なソフトに仕上がるよう、更にブラッシュ・アップを続けてまいります。

### 団体概要

産学官が連携して研究会を運営しており、ソフト「橋の匠」の機能向上と普及活動を進めています。  
学) 京都大学ほかの先生方からご指導を  
官) 近畿地整局道路管理課を中心に現場情報を  
産) ゼネコン・PCメーカ・鋼メーカ・コンサル  
タント・財団協会等諸団体ら50社、70名の参加により、調査研究・普及活動を継続中！

### 問い合わせ先

一般社団法人橋梁延命化シナリオ研究会  
窓口：幹事長・中山昭二  
TEL 06-7177-0134  
URL <https://bridge-scenario.or.jp/>